

認知症高齢者とのコミュニケーション力の向上研修 コミュニケーション力を高め認知症高齢者の心に寄り添うために！

認知症高齢者が450万人を超え、日本の介護現場を取り巻く環境は短い年月で急激に変化しています。認知症高齢者が増加する中で、認知症に関する考え方や接し方等に関して、介護従事者のスキルや事業所の体制が十分に追いついていないのが現状です。

また、介護の現場では、認知症高齢者の思いに気付かずに、その場しのぎのコミュニケーションを取ってしまうこともよく見受けられます。介護職員が認知症高齢者との適切なコミュニケーションを図れず、介護従事者が利用者との関係性が築けないことで、利用者の不安や不満が増長し、BPSD（行動・心理症状一周辺症状）が現れてしまうケースも多いのではないのでしょうか。

認知症高齢者は自分の思いを上手に伝えることが出来ないことも良くあるため、介護従事者側が『利用者の思い』に気付けるようにすることがとても重要です。

利用者の笑顔溢れる生活を支えるための最初のステップは、『利用者の思いに寄り添う』ことです。そのためには、専門性の高い『認知症高齢者とのコミュニケーション技術』が必要不可欠です。

認知症高齢者の立場（認知症の種類や特徴）を理解したうえで、言語のみのコミュニケーションに留まらず非言語のコミュニケーション（表情からスキンシップに至るまで）をどのように図るかを学べる研修会を企画致しました。

本研修会の参加を通して、更なるスキルアップに繋げて頂けたら幸いです。

受講生の声：体験談などを交えて聞いて納得できました●初めて聞く内容がとても新鮮でした●認知症の進行を予防できることもあることを知りました。●利用者の状況を考えて言葉を選ばないといけないと思いました。●基本的なところから分かりやすく教えてもらえました●分かっているようで、分かっていなかったことに気付きました●言葉の使い方を間違えていたことで、利用者さんを不穏にさせていました。●言葉の引き出しが少なすぎました●現場で明日から使えるものが多かった●「少し待って下さい」等と言っていました●説明も資料も満点でした●分かりやすくすごく良かった●NGワードをたくさん使っていました。減らしたいと思います●利用者が落ち着かなかったり、混乱している原因は私たちにありました！

日時	内 容	講師
5/31 9:40 ～ 16:10	①認知症の基本的理解 ②認知症高齢者の対応（基本姿勢一関わり方の基本） ③認知症高齢者とのコミュニケーション コミュニケーションとは 認知症高齢者のコミュニケーション障害の理解 良いコミュニケーションを取るための大切な視点 ④実践的技術（認知症介護での「禁句」と「言い換え」）	田島 利子氏先生 介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士 日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム管理者。現場の業務に精通したスペシャリストで、介護現場の実情を踏まえた実践的な講義が好評。全国にて介護従事者の育成に尽力。

受講料 10,800円 **ネット配信サービス加入者は半額での受講が可能です！！**

受講対象 全ての介護従事者（先着60名）

研修会場 ウェルおおさか 大阪市西成区出城2-5-20 JR環状線今宮駅徒歩10分

申込方法 下記FAXおよび電話にて受け付け

主催 お茶の水ケアサービス学院 お問い合わせ TEL03-3863-4000 FAX03-3863-4006

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	役 職	ネット配信の 加入の有無	有・無
		事業所名		
住 所	(〒 -) (事業所・自宅)			
TEL		FAX	e-mail	

注意：お申し込み後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。尚、申込日に拘らず5/17以降は、全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。